

2020（令和2）年度 第3回広報委員会 議事録

日時：2020年12月23日（水） 午後7時～午後8時

場所：web会議システムを利用して実施

出席：田中信弘（担当理事）、藤原 靖（委員長）、安藤 圭、稲毛一秀、重松英樹、
鈴木秀典、田中雅人、成田 渉、播広谷勝三

欠席：安宅洋美、大谷晃司

陪席：鈴木めぐみ（事務局）

【報告事項】

1.これまでの進捗状況

藤原委員長が、前回委員会にて決定したホームページの修正事項について、これまでに完成したページを説明した。

「入会 Q&A」の掲載、大正 Award の授賞式報告や写真の掲載、第49回学術集会の学会報告記などであった。

一同それぞれのページを確認した。

2.バナー広告

田中理事が、新規のバナー広告として科研製薬より申請があったことを報告した。引き続き声掛けができそうな企業があれば、依頼してほしいと発言した。

3.モニタリング認定医の告知

藤原委員長が、新設されるモニタリング認定医について、理事会から告知の下命があったが、すでにモニタリングワーキンググループのほうで掲載内容等かため、掲載が完了していると報告した。一同で掲載箇所を確認した。

【審議事項】

1.椎間板ヘルニア治療の修正について

藤原委員長が、椎間板ヘルニア治療を「一般の皆様へ」に掲載するために、掲載原稿を委員会内でメール審議し原稿は完成したが、掲載箇所をそのページ内のどこにするかが定まっていなかったとして一同検討した。

「主な疾患」の腰椎椎間板ヘルニア部分に掲載するとしても、文面の整理が必要であることや、「主な治療法」に掲載するならそのなかの保存療法・手術療法・その他のどこに掲載か

など、再度検討することになった。

2.動画募集について

藤原委員長が、理事長の下命である「動画の掲載」について、前回検討した通りまずはセキュリティの高いマイページ内に動画掲載用のページを作り、学術集会の発表動画を掲載する案を進める件について説明した。

大和先生（浜松医大）からの情報によると、シンポジウムと教育研修講演は浜松医大で保管されており、それ以外については運営会社のコングレに保管されているか否かを確認中とのこと。※後日教育研修講演は浜松医大では保管されておらず、特別講演や症例検討などが保管されているとわかった。

以下の意見が出た。

- ・シンポジウムは長いので、教育研修講演をいくつか載せてはどうか
- ・教育研修講演にしても、すべて掲載したら、学術集会にお金を出して参加数意味が薄れてしまうかもしれないので、その中のいくつかを載せるか
- ・いくつかはどう選ぶか。レジェンドのものならよいと思うが、なぜその動画を選んだか？などのクレームがつかないか
- ・概算見積が100万円とのことだが高いのではないか
- ・YouTubeや個人のサーバーで展開すれば、いくらでも安くできるが、JSSR規模の内容をそれらに掲載するのはセキュリティ面で問題がある
- ・セキュリティの担保が第一で、金額は理事会が承認・判断すること
- ・アップデートの際にはどの程度の金額となるかも、見積があるとよい
- ・動画視聴により単位を取る類のものではなく、会員が気軽に観られるようなものなどの意見が出された。

また、手術動画の掲載についても検討した。

田中雅人委員より、手術動画を掲載するのであれば、まずは松山理事長から1つ手術動画を送ってもらい、その後広報委員会内で一人1つずつでも動画をアップしていくのが良いのではないかとの意見があり、一同賛同した。

3.リーフレットの作成

田中理事が、当学会の理事でもある小田先生が日整会（JOA）の広報委員であり、前回の理事会時に、JOAで患者向けに作っているリーフレットの更新にあたり、当学会も協力してくれるか否かを広報委員会内で確認してほしいとの依頼があったと報告した。

例えば手外科学会であれば、そのリーフレットの手外科関連部分の更新に協力しているとして、手外科の例を示した。当学会でも、このような件に協力するかと提起し、一同検討し、以下のような意見が出された。

- ・協力する場合、JOA が主体なのか当学会なのか。同時に資金の出どころはどこになるか
 - ・昨年ホームページのリニューアルをした際は、一般の人が当学会のホームページを見てくれない現状から、一般向けの充実をはかった。JOA のリーフレットと当学会のホームページの内容がかぶってしまったら、また当学会のホームページは、一般の人が見ないものになってしまう恐れがある
 - ・JOA のリーフレットより、当学会のホームページの一般向けページのほうが載っている内容が多く充実している
 - ・協力するかしないかでいえば、協力必須と考えるが、当学会のホームページの一般ページ（の疾患部分）すべてを JOA のほうへも掲載してしまうのもどうか。当学会のホームページの意味がなくなる
 - ・JOA へ掲載する内容と、当学会に掲載する内容を書き分けるのは困難
 - ・JOA の広報委員会には何名くらい脊椎外科医がいるのか（不明）
- 以上の議論から協力の有無は理事会を通して回答してもらうが、まずは一同で JOA のホームページに掲載されている患者用パンフレットの内容等を確認することになった。

4.来年度予算

田中理事が、学会のホームページに掲載されているイラストのいくつかの著作権が不明であり、描きなおしを進める予定であると報告した。

田中理事が、田中雅人委員に該当のイラストを示し、これらのイラストの著作権について何か知っているかと尋ねたが不明であるとの回答であった。

また、動画サイトについては掲載動画の内容とともに検討し、予算化することになった。

さらに、トップページのスライド写真に大きく前中村理事長の写真が使われているので、松山理事長のお写真に変えるなどする必要があり、それについても予算化していくと述べられた。

藤原委員長が、評議員全員の顔写真や氏名の和英併記なども併せて来年度には進めていきたいと述べた。

その他

・2021年4月京都での学術集会で、対面の委員会を開催するかについて議論した。対面となると、Zoom ミーティングのようにほぼ全員出席することは難しくなるのではないかなど意見が出されたため、再度検討することになった。

以上